

花鳥風月

一有美

花の艶やかさに頬を染めますか

鳥の白く伸びた羽根に見惚れますか

風に乗りゆく青さは流しました

月に輝く兎を見上げてみました

煌びやかな夢を見たいのですか

限りある季節を感じたいのですか

寂しいけれど その心重ねてください

それでいい それがいいんです

一つ、あなたに知ってほしいことがあるのならば

季節は幾度も巡りゆくのです

生きとし生けるもの イケるもの

春に散りゆく私は瞳に映りませんか

夏に鳴けない私の声は耳を通りませんか

秋に立ちゆく強さは羽織りました

冬に溶けゆく弱さは袂に入れました

一つ、あなたに見てほしいものがあるのならば

胸元に入れた夢の続きです

生きとし生けるもの イケるもの

人と人、あなたと私が出会ったのならば
目を合わせ、共に笑っていたいのです
生きとし生けるもの イケるもの
生きとし生けるもの イケるもの



一有美

一九七九年 兵庫県生まれ

脚本家として活動する傍ら、作詞、詩を執筆中。